

編集後記



先日ニュースで**成人式**の様子を報道していましたが、その中で自分の子供に、「**生まれてきてくれて、ありがとう!**」とテレビカメラの前で感謝されるお母さんがいらっしゃいました。親が子供に感謝する時代?と軽い違和感を覚えたのですが、思い返すと私自身もわからなくはありません。

身内の話で恐縮ですが、実は今年我が家の娘もまた成人式を迎えました。その娘が生まれて4ヶ月健診の時のこと。

心臓に異常の疑いがあると言われ、そしてその約1年後、大阪の国立循環器病センターに入院。機械で吊り下げられて診察を受ける泣き叫ぶ娘を、そして自分を責める家内を今でも覚えています。しかし、その後すぐに、家内も私も涙が引きました。

娘が入院した循環器病センターの小児病棟には、私たちが暗い顔をするのが恥ずかしくなるような、娘よりずっと重い病気を抱えながらも必死で生きていこうと頑張っている子どもたちと、それを一生懸命支える親御さんたちがたくさんいたからです。

その壮絶な闘病の現実に、自分という、ちっぽけな人間性を否定されたような、大きな衝撃を受けました。実際、その病棟の子どもたちに比べたら、うちの娘の病気なんかたいしたことありませんでした。幼稚園くらいの女の子が無邪気に笑いかけて、環境に馴染めずなかなか泣き止まないわが娘を、一生懸命あやしてくれました。その笑顔の可愛い子もまた、日本に数例しかない大きな手術を待つ、重症な患者でした。全国から重い心臓病の患者が集まっていた循環器病センターでは、多くの命が救われたことと思います。

さて、再生医療の実現に道を開いた山中教授のiPS細胞の研究のみならず、日本は医療先進国であることは疑いのない素晴らしいこと。

日本は、世界に類を見ない**長寿大国**で**医療先進国**。そして、それを担っているのが、**国民皆保険制度**です。特に高齢者医療への拠出金が年々増大する一方で、これが保険料率引上げの大きな要因となっていることを考えると、医療費が増え、健康保険等の社会保険料の負担が増えるのも致し方ない面はあると思います。

この毎年のように引上げられている健康保険料ですが、国庫補助率の引き上げなど国の支援拡大で、昨年は据え置きとなり、何とか今年まではその可能性があります。(尚、介護保険料は高くなる予定です)ただこの据え置きの処置も、税金を投入して一時的に健康保険料を抑えたに過ぎません。既に協会けんぽの試算ではこの平成26年中に再び赤字に転落することが予想されています。

この協会けんぽの健康保険料は、健康保険(医療費)を使わない都道府県ほど保険料が安くなる仕組みです。現在の保険料率は、東京都の9.97%に比較して、大阪府は10.06%、兵庫県は10.00%と高い状況。まもなく**平成26年度の保険料率が発表**されるでしょうが、今後の大阪や兵庫の保険料に注目です。国は、「**税と社会保障の一体改革**」を進めることにより社会保険料の取りっぱぐれを防ごうとしていますが、それ以前に大切なことは、あまり医療費を使わないですむ、**元気な社会**であることは間違いありません。

おかげさまで、今はうちの娘も今は検査通院のみで、少林寺拳法部に所属するくらいたくましくなりました。冒頭のお母さんの話。確かに子育てを通じて、喜びも試練も経験できたことを思えば、感謝・・なのかもしれませんが、でもやっぱり、一番頑張ったのは、お母さん。あなただと思います。。

さあ世の中のお母さん、お父さん、全ての大人の皆さん、**今日も元気でいきまっしょい!**

アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

電話 (06) 7172-0165

E-Mail avenir4you@gmail.com

〒561-0884 大阪府豊中市岡町北 1-7-9

